

令和3年度 大阪府立豊中支援学校 第3回 学校運営協議会記録

- 1、日時：令和4年2月3日（木）10：30－11：35
- 2、場所：本校調理室
- 3、構成：＜ 委員 ＞ 意見徴収を含め5名
 ＜事務局＞ 校長、教頭1名、事務長、首席1名、教諭1名
 傍聴者なし
- 4、内容

| | | |
|-------|---|---------------------------------|
| 10:30 | 第3回協議会次第説明 校長挨拶 | (事務局) (校長) |
| 10:35 | 報告及び協議、質疑応答 ・令和3年度 ICT活用実践報告 ・学校教育自己診断、学校生活アンケートの実施について ・令和3年度 学校経営計画及び学校評価 ・令和4年度 学校経営計画及び学校評価 | (委員長) (担当教諭) (首席) (校長) |
| 11:35 | 事務連絡 | (事務局) |

●上記のとおり、報告等を行い、各委員より次のような意見をいただいた。

今年度の実践について

- ・学校経営推進費事業『豊中 安全安心 HOT ホット PROJECT』3年目の総括として兵庫県等が主催している令和3年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」に応募したところ、“レジリエンス(縮災)”に繋がる取り組みを評価され「URレジリエンス賞」を受賞することができたことを報告した。受賞を契機に、子どもたちへの更なる啓発に繋げて欲しいと励ましをいただいた。

ICT活用実践報告について

- ・端末を毎日持ち帰る地域の学校もあるが、本校でも長期休暇中に持ち帰るなど柔軟に対応できる準備が整うとよい。通信環境など各家庭のニーズも様々であるが、受験をはじめ、端末を利用できることが前提とした学校生活も未来にある子どもたちと過ごしていることを認識して実践を重ねてほしい。
- ・活用方針にある「いつでもどこでも使えるICT」や、SAMR(セイマー)モデルに習う今後の方向性やアクションプランをキャリア実践としても展開してほしい。

学校教育自己診断、学校生活アンケートについて

- ・保護者、教職員ともに例年評点が低い「PTA活動への理解」については、保護者として理解度が向上されてほしいと感じている。PTA主体の活動というよりも、日々の学校教育の中で子どもたちや先生方を保護者が下支えするという意識が今後の姿になっていくのではないか。
- ・教職員の「人事に関する分担」の設問についても、本校の状況や実態と昨今求められる様々な情勢に対応している管理職等の状況に理解を示す姿が反映されてほしい。
- ・課題やめざすべき姿がはっきりしている事柄(児童生徒理解、キャリア教育、ICT環境)については評点が向上している。日々の先生方の努力を汲み取ることができる。

- ・代表委員会のアンケート結果にもある、子どもたちの「生の声」を大切にしてほしい。特に、困っていることに対しては、解決する力へのアプローチ（指導）にしてほしい。
- ・「地震や災害」に関する項目については、命に関わる事なので、先生方それぞれの意識向上や子どもたちへの指導が徹底されることを期待したい。
- ・「生徒の指導支援に関する学部間連携」の評点が向上されていることが保護者として嬉しい。環境変化が苦手な子どもたちに途切れることのない支援が全校体制で届くことが子どもたちはもとより、保護者にとっても有難い。

令和４年度 学校経営計画及び学校評価について

- ・キャリア実現を掲げためざす学校像、中期的目標について承認をいただいた。